



ともにほほえむ

ほほえみ

八重森 秀雄様 81歳 自治会長21年、民生委員7期 自治功労賞の表彰などを受け地域に貢献されました。

公益社団法人として新出発！

― 設立二十周年・公益社団法人移行記念事業を終えて ―

公益社団法人 神奈川県介護福祉士会会長 野上 薫子

本会は本年十月二十六日に、由緒あるホテルニューグランドペリ

― 来航の間に於いて、設立二十周年・公益社団法人移行記念祝賀会を開催しました。早いもので平成五年十月二十六日設立（初代 田口久美子会長）以来二十年が経過しました。この間、平成二十年十二月一日（公益法人法施行日）に一般社団法人格を取得、本年十月一日に念願の公益社団法人の登記を済ませ、晴れやかに祝賀会を迎えることが出来ました。ふりかえり

まずと組織運営、研修企画等々全く素人の私達が会を少しずつ発展させ、今日を迎えることができたのも、ひとえに会員として本会を支え続けて下さった会員の皆様は本よりのこと、陰に陽に本会を温かく見守り、期待を寄せ、好意を持って支援を下さった数多くの皆様のご厚情の賜物と心から感謝と御礼を申し上げます。

祝賀会の開催については、「今日までご支援下さいました行政・

関係機関・関係者の方々をお招きして、今日迄のお礼を申し上げるとともに、公益社団法人としての

本会の新しい出発を祝い、激励をさせていただく会」にとの思いで計画をしました。幸せにも、黒岩神奈川県知事をはじめ、招待状を差し上げた殆どの方々のご参加下さり、誕生日を心から祝福して下さいました。おかげさまで二十歳の門出にふさわしい、和やかで楽しく、華やかで心温まる宴となり、喜びの中に公益社団法人神奈川県介護福祉士会として新たに出発をすることが出来ました。

記念誌「神奈川県介護福祉士会二十年の歩み」の編集にあたり二十年を振り返りますと、「こんなにも多数の方々のお力添えを頂戴し、育てていただいたのか」と胸が熱くなりました。改めて感謝を申し上げますとともに責任の重さを実感いたしました。これよりは社会に貢

献する新成人の自覚で、介護福祉士として、専門職として、会員の皆様と力を合わせ、神奈川県の福祉増進の一翼を担える福祉人材の輩出と公益社団法人としての盤石な組織の再構築を決意しております。

例年にならない寒い日が続いております、健康に十分留意され、よい新年をお迎えください。明年もどうぞよろしくお願いいたします。



神奈川県介護福祉士会 設立二十周年・公益社団法人移行 記念祝賀会 開催

秋も深まる平成二十四年十月二十六日(金)(設立、平成五年十月二十六日)午後六時より、当会設立二十周年と公益社団法人移行を記念して、祝賀会を開催した。

場所は、横浜山下公園前の伝統ある、ホテルニューグランド「ペリー来航の間」。ご多忙の中、数多くのご来賓にご出席を頂き、会員含め百二十五名が参集した。すながわちえこさん(スタジオオベティ主宰)の司会で定刻に開会。

野上薫子会長が、設立二十周年を迎えられたこと、公益社団法人格を無事取得できたことの報告とともに、これまで当会の活動や成長を支えてきてくださった全ての皆様に対してのお礼と、公益社団法人としての新出発を見守り、今後ともご指導いただきたいと挨拶を述べた。

次に、多忙な公務の中、神奈川県知事黒岩祐治様より、「命輝くマグネット神奈川の実現に、貴会は力強いパートナー」との祝辞を

頂戴した。続いて、横浜市代

理、横浜市健康福祉局高齢健康福祉部長の妻鳥一富様、川崎市代理、川崎市健康福祉局長寿社会部長の成田哲夫様、相模原市代理、相模原市健康福祉局保険高齢部長の和光亨様、日本介護福祉士会会長の石橋真二様より祝辞を頂戴した。(祝辞内容は以下に掲載)また、時間の関係上、ご挨拶を頂戴できなかったご来賓の皆様のお名を、お一人ずつご紹介させていただいた。ご来賓紹介の後は神奈川県社会福祉協議会会長の篠原正治様より、参会者及び当会の今後の発展を祈念して、乾杯のご発声を頂き開宴となった。

新たに知り合われ、名刺交換をなさる方々。久しぶりの再会に、食事もそこそこに近況を報告し合う会員たち。ステージ正面に横浜港の夜景を望み、フルコースディナーを楽しみながら、様々なコンクールで受賞歴のある伊藤幸子さんのピアノの演奏もあり、優雅で

和やかな歓談至福のひとつ時が続いた。閉会が近づくと、社会福祉法人いきいき福祉会専務理事の小川泰子様よりお祝いの花束が野上会

黒岩祐治神奈川県知事



祝辞

この度は、神奈川県介護福祉士会二十周年、及び公益社団法人格取得、心からお喜び申し上げます。「命輝くマグネット神奈川」の実現を公約に掲げ、一年半が経ちました。命輝くような神奈川をつくるためには、介護福祉士の皆さんは、正に強力なパートナーであると思っております。

ご承知の通り、神奈川県は非常に厳しい財政状況の中にあり、現在、緊急財政対策を実施しています。これから先二十年を見通した時、超高齢化の波が圧倒的な勢いで押し寄せ、医療介護に莫大な出費がかさみ財政が破綻するのは目の前に見えています。医療費や介

長に贈呈され、祝宴に一層華やかさが添えられた。最後に、平野浩子副会長がお礼の言葉を述べ閉会となった。(文責 コシユ石井美千代)

護費を抑え、かつ県民の生活の質が上がるためには予防が不可欠であり、介護福祉士の皆様には介護予防にぜひお力添えをいただきました。

私は平成三年頃よりキャスターとして、ナースの問題に取り組みました。その頃ナースの世界は「きつい、汚い、危険」の3K職場と言われ、ナースの皆さん自身が「我々の仕事は3K職場です」と言いました。しかし、ナースの仕事は良い仕事。人と向き合い、一生懸命支える素晴らしい仕事です。その素晴らしさをTVで訴えるべく、「感動の看護婦最前線」という番組をずっとやり続けました。看護の世界に光を当てたいと言う思いでした。今、看護の世界は随分変わりました。次に私は介護の世界に光を当てたい。私が神奈川県知事として最もやりたいことです。その第一弾として、「感動の介護大賞」を創設。素晴らしき介護の感動的な思い出を募集し、

現在審査に入っています。そこで選ばれたエピソードを広め、「介護の現場はこんなに素晴らしい人と人とのふれあいがあるのだ」とアピールし、介護の世界で頑張っている人たちに光を当てたい。そして、介護の世界をやり甲斐のある素晴らしい世界にしたいと思っています。

これからも介護福祉士会の皆さんと共に心を一つに頑張りたいと思います。本日は、おめでとうございます。

祝辞

横浜市健康福祉局
高齢健康福祉部長
妻鳥一富様



横浜市も高齢化のスピードが加速し、予測では二〇二五年には、高齢者が百万人を越えるといわれています。市の重要施策として、「百万人の健康づくり」を目標とし、身近なところで健康作りや介護予防を進める取り組みを広げているところです。

平成二十三年度の決算で、介護保険の給付費用は、年間一七八〇億円、一日だと四億九千万円にな

り、財政的にも大変厳しく、少しでも健康寿命を延ばすことが重要になります。住み慣れた地域で、自宅で晩年を迎えたいという方を支えるには、優秀な介護人材の確保、介護サービスの質の向上という視点が欠かせません。貴会の継続的な取り組みに感謝し、貴会のご発展と会員の皆様の一層のご活躍を祈念します。

川崎市健康福祉局
長寿社会部長
成田哲夫様



川崎市における高齢化率は、十七％です。政令都市の中では若いとは言え、急速に高齢化が進んでいます。平成二十四年度から平成二十六年年度までの「川崎いきいき長寿プラン」においては、高齢者が介護が必要となっても川崎で暮らし続けられる支え合いの町作りを基本目標としています。平成二十二年より「介護予防いきいき大作戦」を展開しています。川崎市にゆかりのある坂本九さんの「上を向いて歩こう」の曲で健康体操のDVDを作り、病気に強く日持ちのする梨、長十郎からイメージ

キャラクター長寿郎も作りました。貴会がこの二十年間に素晴らしい足跡を記したことは大変意味深いことと思います。深く敬意を表するとともに貴会の一層のご発展を祈念します。

相模原市健康福祉局
保険高齢部長
和光亨様



現在、わが国は超高齢社会に突入し、今後更に急速に高齢化が進行します。介護福祉ニーズの増加、多様化への対応が求められているところです。相模原市は、比較的若い世代の多い都市として発展をしてきました。しかし、本年四月の時点で、高齢化率二十％を越えました。今後、団塊の世代の方たちが高齢者となる平成二十七年には、二十％を越えることが見込まれています。こうした急激な高齢化の中、本年四月に第五期の高齢者保健福祉計画を策定しました。地域包括ケアの構築が中心であり、その推進にあたり利用者本位、自立支援、利用者ニーズの代弁者と言

う心を持つ貴会のご協力が欠かせません。今後の更なるご支援とご協力をお願いします。

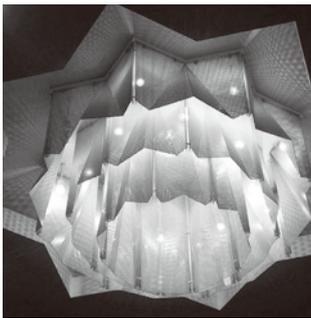
日本介護福祉士会
会長
石橋慎二様



社会福祉士・介護福祉士制度創設から二十五年が経過し、介護福祉士の登録者数は平成二十四年四月で百万人を越えました。

日本介護福祉士会は、平成六年二月に設立された職能団体です。介護福祉士の職業倫理の向上、専門性の確立、資質向上のための研修会、啓蒙活動、介護職員の処遇改善等、介護福祉士の社会的評価の向上に皆さんと取り組んできました。最近では、介護福祉士のキャリアアップを明確にし、介護人材の定着につなげることを目的に、認定介護福祉士資格の創設を進めています。

このような状況の中で、貴会が設立二十周年を迎え、公益社団法人に移行されたことは大変喜ばしいことで、貴会の活動を益々活発化し、社会的評価の向上に努めていただきたいと思います。



シャンデリア



ホテルロビー



記念式典



祝花



おもてなし



祝賀会風景



乾杯!



ご来賓紹介



フルコースのお料理



花束贈呈



お礼の言葉



お見送り

素敵な笑顔が咲いたひと時でした!!



二十周年・公益社団移行祝賀会に参加して

横浜北支部

久保田紀子

オーバーした体型に何を着て行くか、数日まえからワクワクしていました。会場に到着してみるとオシャレした皆さんが居てとってもきれいなスタッフの方も受付やその他の役目をテキパキこなされていて、さすが介護福祉士と感じました。

お祝いに知事さん始め行政、関係機関の方々や、日本介護福祉士会、関東甲信越ブロック介護福祉士会会長の方々など、遠方からのご出席いただき、二十年の間の交流の深さと歴史の重さを感じました。

始まる前に、「会のあゆみ」のビデオ映写もあり、ピアノ演奏と共に、ご馳走をいただいている。「会場も豪華で、品格があつて、良く選ばれましたね。」などの声が来賓からあがっていました。

広報のカメラマンは(会員のご

主人)外国の方がボランティアでしてくださったのですが、「神奈川はグローバルだね」と言う声やら、うれしく、楽しい、めつたに経験できない有意義な時間をすごさせていただきました。

湘南東支部

小野裕子

週末の金曜日、始めは無理でしたが、どうか調整して、二十年の祝賀会に参加できたことを大変嬉しく光栄に思っています。同じ支部の会員の皆さんと美味しいお料理を頂き、来賓の方々の祝辞を聞きながらこれからも研修、勉強に参加して、介護福祉士、専門職として役割をはたせるように頑張らなければと認識を強く感じました。

介護保険のサービスを提供する事業所は、増加していますが、私の事業所も人材が不足しているのが現状です。

これからは、仲間と共に一緒に

学び、一人でも多くの仲間を増やしながら、頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、祝賀会の準備のため、会長はじめ役員のかた方が忙しい思いをされたことと思います。感謝すると共に、楽しい、温かい宴でした。ありがとうございました。

横須賀・三浦支部

金井直子

神奈川県介護福祉士会が設立され、早二十年、この間に福祉を取り巻く状況は大きく変化しました。措置から契約へのパラダイム転換にともない、利用者主体、尊厳あるケアサービスの提供、サービスの質の向上など、これらの多くのことが介護福祉士会に求められています。

そのような背景のなかで、祝賀会の黒岩神奈川県知事をはじめとしたご来賓の方々のご挨拶のなかでは、本会にたいする多くの期待が寄せられていることを感じるとともに、反面、介護福祉士の専門性に基づいた実践の真価が問われていると思われました。

そして今後の二十年に向けて私達はためまぬ自己研鑽と、会には養成教育の充実が求められていると思います。そしてこれらの継続した学びにより、「安心した暮らし」の実現に寄与することができると思います。

そのためには、今後益々会員が連携し、常に「高次の概念」を忘れずに実践していけることができるとともに、会の様々なサポートに期待しています。



記念品(記念オリジナルファイル、記念誌、介護技術基本マニュアル、押し花菜(事務員坂本さんの手作り)、パンフレット)

記念誌編集委員

梅田滋・熊谷眞理子

コッシュユ石井美千代

第一部

生活しやすい国世界 No.1
デンマークに学ぶ
かながわ県民センターホール

公益社団法人としての最初のイベントを神奈川県より委託を受けて開催しました。講師に日欧文化交流学院 学院長 錢本隆行氏を迎え、デンマーク・ミドルファート市（人口約三万八千人）エイボと呼ばれる高齢者センター（小規模多機能型居宅介護に似た高齢者専用住宅）の施設長マリアンヌ・クオーニンゲさんと副施設長ユツテ・ヨーンセンさんのお二人にパネラーとしてお話を伺いました。内容は市高齢者福祉施策から、実際にエイボに暮す利用者のお話まで、幅広く、大変有意義なものでした。

介護の仕事に従事する人はすべて「社会保健介護士」「社会保健介護ヘルパー」と呼ばれる資格が必須で、この資格を得るために実務経験及び数年にわたる教育期間が必要であり、難関ですが大変に人気の高い職種なのだそう。会場からの質問で、介護現場の人手不足をお伝えすると、驚かれた様子で、「先日一名の職員募集に八〇名の応募があった。ボランティアも充実しており人手不足はない」と話され、日本との違いに驚かされました。

また、看護師は、常駐せずヘルパーとチームを組んで市内を巡回し二四時間業務に当たっているというシステムも斬新でした。

日本とデンマークは国の大きさも制度も何もかもが違い、内容は驚きの連続でしたが、一方で、現場に立つ人間として共感できるお話も多くありました。

デンマークで有名なアンデルセンの言葉には「生きるだけでは十分ではない。人は、太陽、自由、小さな花もまた持たなければならぬ」とあるそうです。自分達のエイボも「エデン・オルタナティブ（価値ある生活を送れる家途上であるというお話からは、高い志が感じられました。

(川崎支部 田島彩子)

(横浜北支部 小堂あけみ)

第一部

デンマークにおける介護技術を学ぶ
利用者・介護者の身体に
やさしい移乗・移動の介助方法

デンマークは労働環境法に、職員は無理な体勢をとらないと約束している。状況により、必要な人数・時間・補助器具を使い、持ち上げない移乗・移動を行う。本人がどれだけ動けるかが基本。二人介助の場合は、介護者のメインとサブの合意で「話す・動く」を利用者の承認を得ながら、声かけ・介助を繰り返し行う。「できない」の補いではなく、ICFである。自助への支援 Help to self help. 利用者の自立の喜びは日常活動の獲得につながる。ボディメカニクス活用の技術を学ぶ。介護の日記念行事に「介護者の身体にやさしい介護技術」を、充実した内容に振り返りと気づきを頂き、目から鱗が落ちる。ありがとうございました。感謝！



今後の研修予定

日 時	テーマ	講 師	会 場
H25.1/20 14:00～17:00	他人事ではない認知症	メディカルケアコート・クリニック 院長 小阪憲司氏	ヴェルグ横須賀 第1会議室
H25.1/20、2/25、3/1 10:00～16:30	スーパービジョンの理解と実際 (講義と演習)	西片医療福祉研究会 代表 山田美代子氏	ウイング横浜
H25.1/26、27 10:00～16:30	介護過程の展開と個別ケア	浜松聖隷クリストファー大学 教授 中村裕子氏	神奈川県立 保健福祉大学4階
H25.1/26 13:30～16:30	市民公開講座 死ユミレーション	(NPO)市民福祉団体全国協議会復興支援 事務所 所長 安部白道氏	藤沢産業センター 7階第1会議室
H25.2/15 13:30～16:30	アクセサリーのリフォーム	鎌田サト子氏	神奈川県 介護福祉士会
H25.2/17 9:30～16:50	第25回 国家試験受験対策 介護実技講習会	神奈川県介護福祉士会 介護技術講習主任指導者	ウイング横浜 介護実習室I
H25.2/20 13:30～15:30	特発性正常圧水頭症について	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)コッドマン事業部 疾患啓発事業マネージャー 佐々木博信氏	ウイング横浜 123研修室
①H25.2/27、②3/10 10:00～16:00	「たんの吸引・経管栄養」に ついての知識と理解	横須賀老人ホーム 看護相談担当課長 山本匡子氏他	ウイング横浜
H25.3/9 10:00～16:00	高齢者の権利を積極的に擁護する ～虐待の早期発見と連携～	横浜弁護士会 高齢者・障害者の 権利に関する委員会委員他(予定)	ウイング横浜 研修室

推薦映画 2013年1月19日(土)ロードショー

山田洋次 監督50周年記念作品「東京家族」

監督作81本目となる「東京家族」は、日本映画史上最も重要な作品の一つで、2012年に世界の監督が選ぶ最も優れた映画第1位に選ばれた「東京物語」(小津安二郎監督)をモチーフにした、<今の家族>の物語です。

出演●橋詰功、吉行和子、西村雅彦、夏川結衣、中嶋朋子、林家正蔵、妻夫木聡、蒼井優
ご希望の方には、特別インナー券(全国共通特別鑑賞券)を1,000円でおわけ致します。
申し込み締切り●2013年1月31日 事務局までご連絡下さい。045-323-1085



編集後記

本会は設立二〇周年を迎えるとともに、一般社団法人から公益社団法人へと新たな出発をいたしました。一般社団法人からの移行には複雑な手続きや厳しい条件のクリアなど困難を極めました。関係者各位の多大な尽力の甲斐あって、この日を迎えられたことを大変喜ばしく思います。また設立二〇周年記念祝賀会に出席できなかった皆様にも、紙面を通して盛大かつ華やかに開催されたことをお伝えできれば幸いです。

(田島)



ほほえみ 四〇号

平成二十四年十二月二十五日
発行 公益社団法人
神奈川県介護福祉士会

会長 野上 薫子
横浜市西区楠町九番地七

TAKビル三階

電話 045(323)1085

FAX 045(317)5930

E-mail info@kanagawa-accw.org

印刷 吾妻印刷株式会社

電話 045(730)5161